

No. 2931

2019-2020年度

会 長 橋本 拓也
幹 事 中元耕一郎
R広報委員長 脇村 重徳



島海碩書

第2640地区
例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



本日のプログラム

令和元年11月28日 第2932回

- ・会員卓話：大塚 美晴 君
「相続税について」
- ・ソング：「四つのテスト」

前回の報告（第2931回例会）

開催日 令和元年11月21日(木)

点 鐘 (橋本会長)

ゲストの紹介 (嶋田(恵)親睦活動委員)

ゲスト：小川裕康様(紀美野町副町長)

ニコニコ箱の報告 (井上副SAA)

橋本君：小川裕康様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願ひします。
中元君：小川裕康様、本日の卓話よろしくお願ひいたします。
上野山(捷)君：小川裕康様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願ひします。
宮井君：小川様、本日卓話ご苦労さまです。勉強させていただきます。
松村君：小川様、お話楽しみにしておりました。
橋爪(誠)君：小川副町長、ようこそ有田RCへ。本日よろしくお願ひいたします。
嶋田(ひ)君：小川裕康様、本日の卓話宜しくお願ひします。
川口君：小川裕康様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話宜しくお願ひします。勉強させていただきます。
石垣(泰)君：小川裕康様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願ひします。
木本君：小川裕康様、ようこそ有田ロータリークラブへ。本日の卓話宜しくお願ひ致します。
嶋田(恵)君：小川裕康様、ようこそ有田へ。卓話楽しみにしています。よろしくお願ひします。
井上君：小川様、ようこそ有田RCへ。

2019-2020年度クラブ方針

明日に繋がる活動

Activities for a brighter future



次回のお知らせ

令和元年12月7日 第2933回

- ・クリスマス例会 ・外部卓話：山本康久氏（那智勝浦町立温泉病院院長）「心に寄り添う医療」
- ・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

出席報告

(石垣(泰)例会運営委員長)

本日の会員数31名
(出席規定免除会員8名)
出席会員数19名
(出席規定免除会員4名)

会長の時間

(橋本会長)

「R財団について」

11月は、ロータリー財団月間です。本日は、皆様と一緒にMy Rotaryで紹介されている「ロータリー財団」を見てみましょう。

1917年：当時のロータリー会長アーチ・クランフが、「世界でよいことをするための」基金の設置提案。このビジョン、そして26ドル50セントの最初の寄付が、全世界で多くの人の人生を変える財団へと発展。今から102年前のこと。

1928年：ミネアポリス国際大会で「ロータリー財団」と正式に命名され、その年から1935年までアーチ・クランフが管理委員長を務めた

1930年：財団が国際障害児協会に\$ 500の補助金授与

1947年：ポール・ハリス逝去後「追悼は献花ではなく、財団への寄付」というハリスの遺志

1963年：カール・ミラーRI会長の発案により、異なる国のクラブと地区を組み合わせる国際理解を推進するプログラム開始、のちに「マッピング・グラント」と「グローバル補助金」に発展

1965年：「マッピング・グラント」プログラム開始、クラブと地区のプロジェクトに補助金を提供する財団初



の常設プログラム

- 1965年:研究グループ交換(GSE)創設
- 1978年:「保健・飢餓追放及び人間性尊重(3-H)補助金プログラム」創設
- 1979年:ロータリーがフィリピンで600万人の児童へポリオ予防接種活動を開始
- 1981年:財団委員会が後に恒久基金となる「世界理解と平和のための基金」設立決定
- 1985年:ポリオプラス・プログラム創設
- 1988年:世界保健総会が世界ポリオ撲滅推進活動(GPEI)創設
- 1995年:全国予防接種日の支援を目的とした「ポリオプラス・パートナー」プログラム創設
- 1999年:ロータリー平和センター設立
- 2004年:「Every Rotarian, Every Year(EREY)」開始
全ロータリアンが毎年財団に寄付することを奨励する取り組み
- 2007年:ビルゲイツ財団が1億ドルのチャレンジ補助金をロータリーに授与
- 2013年:簡素化された補助金モデル(グローバル補助金と地区補助金の2種類)導入
- 2017年:ロータリー財団設立100年を迎える

幹事報告 (中元幹事)

1. 第5回理事会の報告

- ①11月、12月例会プログラム(承認)
- ②10月試算表の件(承認)
- ③前期IDMの決算報告書について(承認)
- ④12月7日(土)クリスマス例会の件について(承認)
- ⑤地区大会選挙人会議における協議に関する報告と依頼の件について「久保治雄君の地区活動への妨害行動」への地区としての対応策について(承認):



(橋本拓也君が2019年12月7日(土)に開催される地区立法案検討会の当クラブからの選挙人として選出された。そして、久保治雄君のバスターとして資格を剥奪する処分に賛成することが承認された。)

⑥ローターアクト設立の件について(承認):設立検討委員会を設置し、今後もローターアクト設立に関する議論を深め、前向きに検討をする。ローターアクト設立検討委員会委員長に上野山栄作君が就任することとなる。

2. 地区より

「令和元年8月九州北部豪雨災害」義捐金についてのご報告が届く

「各クラブより総額1,600,000円のご寄付を頂きました。予めからご案内の通り、RID2740(長崎・佐賀)に送金させて頂きました。被災地区・被災住民の皆様へ衷心よりお見舞い申し上げますと共に、ご協力下さった各クラブ皆様へ謹んでご報告申し上げます。」とのことです。(木本委員長にもメールでお知らせをしました。)

3. 第2回指名委員会開催の案内

開催日時:2019年11月28日(木) 13:35~14:00

場 所:経済クラブ

議 題:1. 次年度役員・SAA・理事の選出について

4. 例会変更(後方揭示)

ロータリー友誌 (菅原R広報委員)

【横組】

P3 マーク・マローニーRI会長メッセージ

ロータリーと国連との関係が簡単に述べられています。今年度行われる国連関係の5つのイベントがニューヨーク、サンティアゴ、パリ、ローマ、ホノルルで行われるのでどれかに参加してくださいとのメッセージ。

P7~ ロータリー財団月間についての特集

財団の最新統計データ、寄付の分類とその使われ方、認証などについて詳しく掲載されており財団への寄付がどのように使われているかよくわかります。また、P12,13には「私がロータリー財団に寄付する理由」の寄稿が掲載されており4名の方の財団への寄付の意義に関する思いが述べられています。

P14~ 各地インターアクトクラブの活動が掲載されています。

P16~ 先日私も参加しました米山梅吉記念館の創立50周年式典についての記事が掲載されています。

【縦組】

P4~ ポリオ根絶に向けての麴町RCの先輩メンバーの活動が現在のRI全体の活動になるまでの源流を作られたとの講演内容の記事、ポリオとはどのような病気かそして東京麴町RCの活動が今日のRI全体のポリオ根絶運動につながったかが書かれています。

P27 ミャンマーでの学校建設が各RCにて行われているようです。

委員会報告

* 社会奉仕委員会(木本委員長)

地区からきた「令和元年8月九州北部豪雨災害」義捐金についての報告とお礼についての報告。

* R財団委員会(松村委員長)

上野山(捷)君、大塚君、松村君からポリオプラス寄付金をいただきました。

ゲストの紹介 (橋本会長)

本日の卓話者小川裕康さんをご紹介します。

小川さんは、現在紀美野町副町長として、紀美野町の地域の活性化のために力を注いでおられます。

私と小川さんとは、海南高校の同級生で、高校時代はお互いに面識はなかったのですが、数年前の同級生のゴルフコンペで一緒に回って知り合いになりました。私が出張で東京にいるときに彼に電話したら、たまたまこれから東京で役場関係の会合に出るので、今は有楽町にいるというので、有楽町の近くのレストランでランチを一緒に

食べました。私も地元の活性化にという思いで東京麻布十番の「和処きてら」を経営しているので、なにかと話が合い、それ以来、紀美野町のイベントなどに行ったりして親しく付き合いをさせて頂いています。

本日は、紀美野町の町おこしで奮闘していることをお話していただけたと思います。有田市、有田川町、湯浅町と近隣の地元が活性化に向け頑張っているのです、小川さんが、紀美野町でどの様に取り組んでおられるのか大変興味があります。本日はどうぞよろしくお願い致します。

<ゲストの略歴>

昭和49年3月	海南高校卒業
昭和54年3月	関西大学卒業
	その後、野上町役場に就職
平成15年7月～	野上町 総務課長
平成18年1月～	紀美野町 総務課長
平成18年7月～	紀美野町 助役
平成22年7月～	紀美野町 副町長

卓 話

「住民活力でつくるまちづくり
～空・山・川のふれあいのある

美しいふるさと～」



紀美野町副町長
小川 裕康 様

みなさんこんにちは。ただ今ご紹介いただきました紀美野町副町長の小川でございます。今日は海南高校の同級生であります橋本会長から声を掛けていただき「紀美野町のまちづくり」について話をさせていただき機会をいただき誠にありがとうございます。

まず紀美野町について、次に本題の「まちづくり」について話をさせていただきます。

紀美野町は平成18年1月1日に旧野上町と旧美里町が合併し誕生しました。合併当時人口は1万2千人でありましたが、その後減少が進み、現在8千7百人余りまで減少し、その対策に苦慮しているところであります。

合併後は移住・定住施策に力を入れ、役場まちづくり課とNPO法人「きみの定住を支援する会」が積極的に取り組んでいるところであります。これまでに約80世帯、約150人の方々の移住・定住に関わってきております。また、県下一子育てのしやすい町をめざし、子ども医療費の無償化や保育行政の充実など他の市町村に先駆けて進めているところであります。また、現在ICT教育に力を入れており、中学校では一人に1台、小学校でも5・6年生は一人に1台、3・4年生はグループに1台のタブレットを配備し、和歌山大学と包括連携協定を結んでいることか

ら大学の支援をいただきながら進めているところであります。

また、紀美野町はパン屋さん、フランス料理やイタリア料理の店、ピザの店やジェラートの店、カフェなどが人気スポットとして、週末などは県内外からのお客で大変な賑わいを見せております。

次に「紀美野町のまちづくり」についてであります。合併直後に策定した第1期の長計、続く第2期の長計において「住民活力でつくるまちづくり」をスローガンとしております。住民が知恵と工夫を凝らし、行政は側面、後方から支援し地域協働で取り組むまちづくりを推進しております。町全域を対象としたまちづくり推進協議会と各地域で特色を活かした町おこし事業の二つの手法で進めています。まちづくり推進協議会には4つの部会が活動しており、地域活動では6つの地域でまちおこし団体が県や国の過疎集落対策補助金を受けて活動しております。こうした地域の取り組みが地域に元気と活気をもたらす、町全体の活性化に繋がっているものと考えております。皆様にも是非紀美野町へ足を運んでいただければ大変幸いに存じます。

今日、こうした機会を与えていただいたことを感謝申し上げます。私の話を終わりとさせていただきます。ありがとうございました。

閉会・点鐘

(橋本会長)

日程	12月の例会プログラム
12/7(土)	クリスマス例会 (Golden River) 外部卓話 山本 康久氏 那智勝浦町立温泉病院 院長 「心に寄り添う医療 ～糖尿病専門医のつぶやき～」
12/12(木)	年次総会
12/19(木)	前期活動報告
12/26(木)	休会